

「水道出前講座」の開催報告について

山武水道では、利用者の皆様に水道の仕組みを分かりやすく解説して、興味、関心を持ってもらうことを目的に参加型広報活動として九十九里地域水道企業団と合同で、小学校4年生を対象に「水道出前講座」を実施しました。

1. 実施日

平成29年6月29日(木) 午後1時55分～午後2時40分

2. 開催校

九十九里町立片貝小学校 4年生29名

3. 講座の内容

(1) 二つの水道局(九十九里水道、山武水道)について

配布資料による九十九里水道、山武水道の各施設の紹介

(2) 水の間屋さんについて(九十九里水道)

凝集沈殿実験

自然水(川の水)に凝集剤(PAC)を添加して沈殿の様子を観察

浄水場で水を作っている様子のはなし

九十九里水道作成の動画により、利根川からの水が浄水場できれいになる様子の学習

(3) 水の小売店さんについて(山武水道)

配水場から水を配っている様子のはなし

スライドで配水場の画像を見たり、質問を投げかけての説明

水のおはなし

クイズによる水への理解を深める学習

災害時に備えた山武水道の訓練の様子、災害時の対策方法、

給水袋の配布など

各種水道管の展示

ポリエチレン管、水道メータ、木樋の展示

以下に出前講座の様子と生徒の感想を掲示します。



参加した生徒の感想

- ・ 水道管が、1 m下にあるという事がびっくりしました。
水道管の全体の直線距離が1400 kmもあると知りすごいなと思いました。
- ・ 昔の水道管を見て私は、びっくりしました。
また、きたない川の水が薬だけできれいになるのもびっくりしました。
- ・ 非常用飲料水袋は水を入れて背負うととても重たかったです。
地震や津波などで水が使えなくなる場合もあるから飲料水は大切だなと思いました。